

Palo Alto Networks 次世代ファイアウォール



**危険なアプリケーションや標的型攻撃が引き起こす
情報漏洩を1台で防止。**

ポイント
1

ユーザーごとに、情報漏洩につながる危険のあるアプリケーションの利用を制御

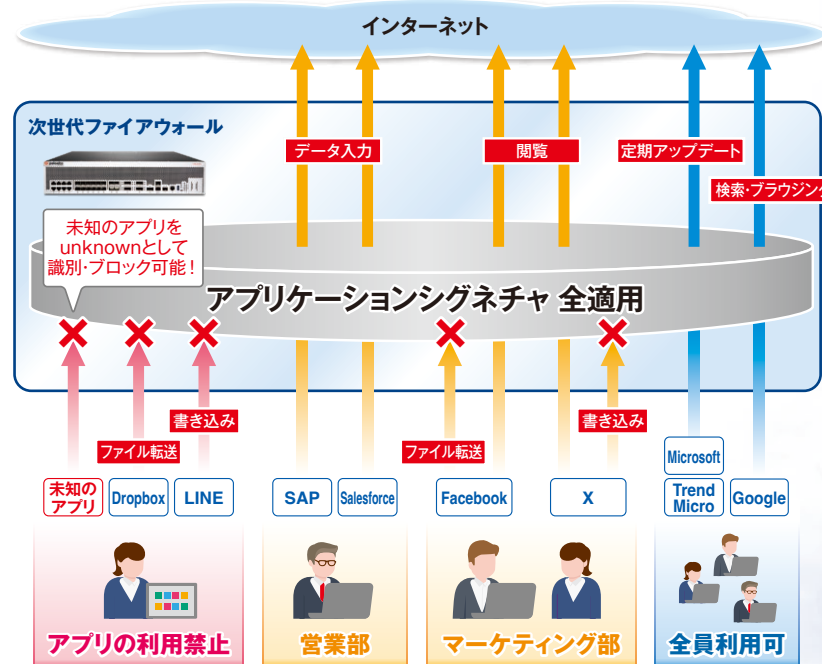
禁止したいアプリケーションのみを遮断し、認められたアプリケーションを特定のユーザーのみに許可します。

■アプリケーション制御 (特許技術)

ポート、プロトコル、SSL暗号化の有無にかかわらずアプリケーションを識別し、アクセスコントロールすることができます。

■ユーザー識別

ネットワークの通信をIPアドレスではなく、ユーザー名で識別し、アクセスコントロールすることができます。



ポイント
3

ネットワークのリスクの見逃しを防止

ログ解析により、ネットワーク状況を把握できます。統合管理によるログの長期保存や設定の一括管理が可能です。

■アプリケーション可視化

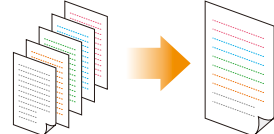
アプリケーションの利用者・利用状況を、一覧表示などで容易に把握。暗号化されたHTTPアクセスも可視化可能です。

■レポート機能

- 次世代ファイアウォール1台でも、内部ストレージに保存したログを解析してレポートを作成できます。
- レポートをスケジュール化して、メールで管理者に送信することで、管理画面にアクセスすることなく、ネットワーク状況を把握できます。



- 複数の次世代ファイアウォールのログを一括収集できます。
- 煩雑なログの管理を容易にし、ログのフィルタリングも自由に行えます。
- ログ容量を増設することにより、ログの長期保存にも対応できます。



統合管理製品 (Panorama)

アプライアンス版 (M-700)

- 最大48TBまでのログ容量を実現。
- ハードウェアとソフトウェアを一体化させることで保守をシンプル化。

ソフトウェア版 (VMアプライアンス)

- 仮想ディスクを柔軟に追加することができ、標準の2TBから、最大24TBまでのログ容量を実現。

統合管理製品 (Panorama) からメールで自動配信が可能!

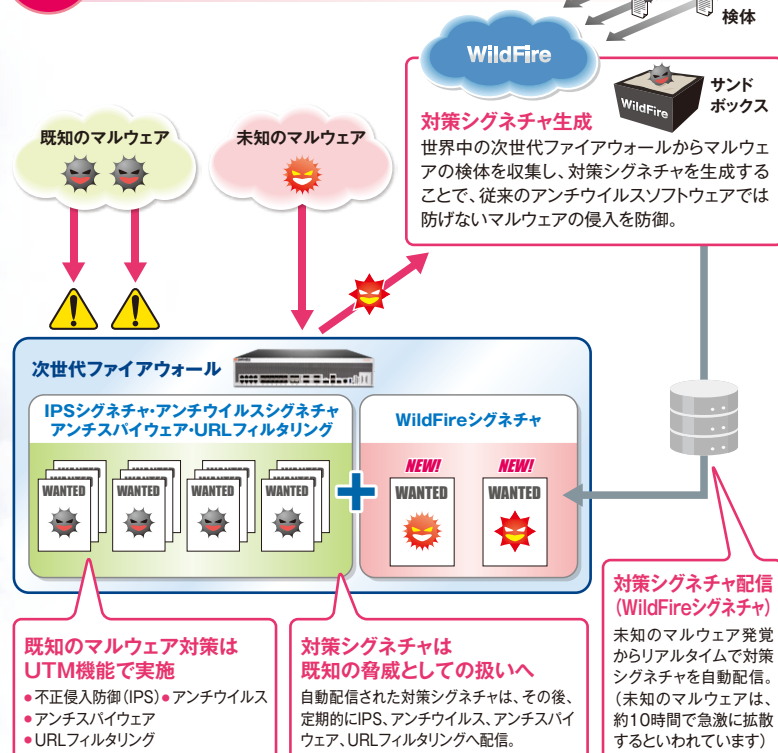
ポイント
2

情報漏洩を引き起こす可能性のあるマルウェアを防御

独自の入口・出口対策で標的型攻撃に使用される未知のマルウェアを防ぎます。

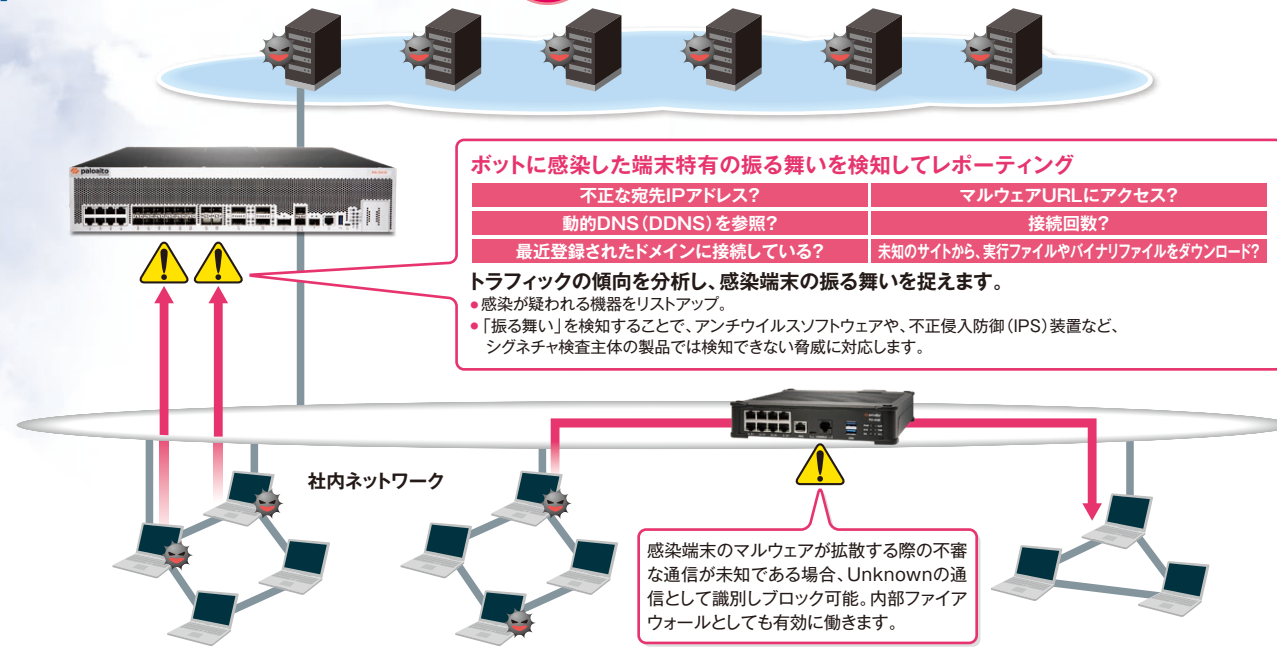
入口
対策

マルウェアの侵入を防御



出口
対策

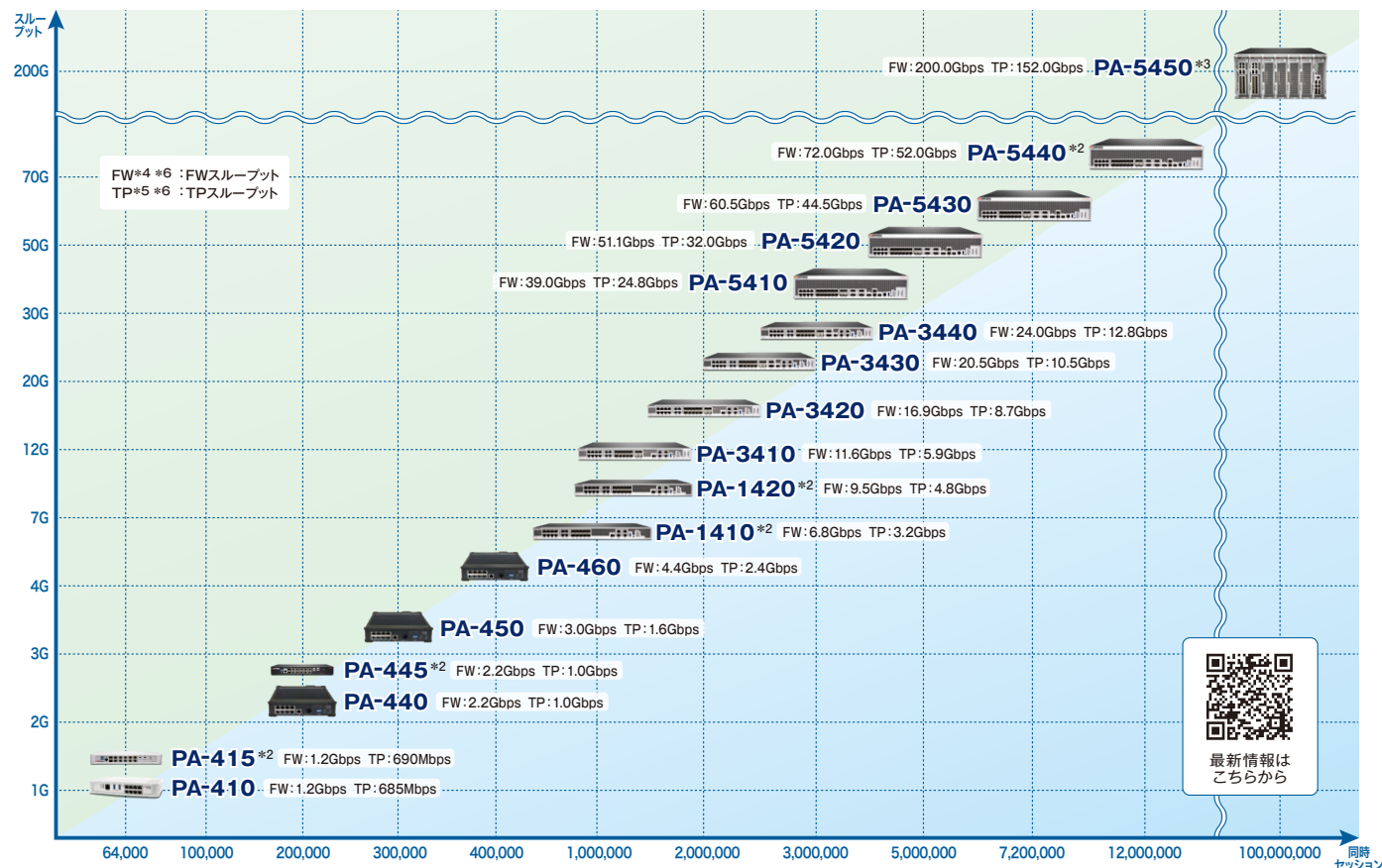
ボットネットを検知し、マルウェアの拡散を防止



お客さまのセキュリティ状況を分析し、レポートをご提供

リスク分析レポートは、次世代ファイアウォールをお客さまのネットワーク環境に持ち込んで実施した、セキュリティリスクの分析とその対策を記載した20ページのドキュメントです。本レポートをご覧いただければ、次世代ファイアウォールの“価値”をご理解いただけるはずです。詳細は <https://www.hitachi-solutions.co.jp/paloalto/advantage/risk-analysis.html> へ

■ 次世代ファイアウォール ラインアップ*1



*1:一部機器を除き、PAN-OS 10.2に基づく数値です。 *2: PAN-OS 11.0に基づく数値です。 *3:最大構成時の数値です。
*4:L4ファイアウォールおよびアプリケーション識別を有効にした際の数値です。
*5:アンチウイルス機能、アンチスパイウェア機能、不正侵入防御機能、URLフィルタリング機能など、各種UTM機能を有効にした際の数値です。
*6:Palo Alto Networks社によるappmixにおける測定値となります。appmixとは同社が実環境通信を意図して構成した測定用パケットデータです。

■ 仮想アプライアンス製品仕様

製品名	VM-Series	
	最小構成時*7	最大構成時*7
仮想CPU	2vCPU	32vCPU
仮想メモリ	4.5GB	56GB
FWスループット*8	3Gbps	28Gbps
TPスループット*8	1.5Gbps	20Gbps
同時セッション	50,000	10,000,000

*7:VM-Seriesは、保守などを含めたライセンス(クレジット)を必要数購入する必要があります。
搭載するクレジット数、仮想CPU、仮想メモリを調整することで、性能を調整することが可能です。
*8: PAN-OS 10.2に基づく数値です。またSR-IOV有効時の数値です。
パフォーマンスは、ハイパーバイザ種別や仮想化支援機能の有無で変動します。

■ 統合管理製品仕様

製品名	M-300	M-700
筐体		
管理インタフェース	RJ-45(100/1000/10G)(x2) DB9コンソールシリアルポート(x1)	RJ-45(100/1000/10G)(x2) DB9コンソールシリアルポート(x1) 10G SFP+(x2)
ログ容量	16TB(RAID1構成)	16~48TB(RAID1構成)
電源	電源冗長 800/1200W AC電源	

Palo Alto Networks社の製品・技術を熟知した日立ソリューションズが提供します。

セキュリティ分野の主力製品をこれまで多数取り扱ってきたソリューションプロバイダー、日立ソリューションズの「経験、実績、技術、ノウハウ」を生かし、「国内初のPalo Alto Networks社認定の技術者」として、次世代ファイアウォールのシステム設計から構築、運用までサポートします。

- 製品・技術を熟知したPalo Alto Networks社認定技術者が担当
- OSの検証など、十分な安全性確認を実施してからの出荷
- Palo Alto Networks社との密接な連携による包括的なサービスの実現
- 導入後の運用までトータルにカバーしたメニューの用意

※Palo Alto Networks, Palo Alto Networks Logo, Panorama, WildFireは、Palo Alto Networks, Inc.の米国およびその他の国における商標または登録商標です。※その他、本カタログ中の会社名、商品名は各社の商標、または登録商標です。※本文中および図中では、TMマーク、®マークは表記していません。 ※製品の仕様は、改良のため、予告なく変更する場合があります。※本製品を輸出される場合には、外国為替及び外国貿易法ならびに米国の輸出管理関連法規などの規制をご確認の上、必要な手続きをお取りください。なお、ご不明な場合は、当社担当営業にお問い合わせください。
※本カタログ中の情報は、カタログ作成時点のものです。

株式会社 日立ソリューションズ

www.hitachi-solutions.co.jp



本カタログ掲載商品・サービスの詳細情報

www.hitachi-solutions.co.jp/paloalto/

S08K-09-16 2025.04